

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 ( 3669 ) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 7 月 2 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

「過去の相場に費やした日柄は今後の相場に強く影響する」 引き続き対等数値の考え方についてご説明します。

前回は、対等数値にはいくつものパターンがあることをご説明しました。(6月18日号と6月25日号のレポート参照) ここまでご理解いただくだけで、もう個別銘柄に応用することが出来ます。

**6445 蛇の目のチャート**をご覧ください。昨年12月安値41円から今年3月高値92円、この上げ巾の51円を、その後の安値である今年4月の70円に足した**121円がN計算値 !!**

では、この**121円がいつ出るか**ということを**対等数値という理論から推測**してみます。

昨年12月安値41円から今年3月高値92円、この日柄は14週。この14週を現在の相場にあてはめます。今年4月安値70円から14週目は7月第1週.....。

**7月第1週にN計算値の121円まで上げる可能性がある。**

ただ、こうも言えます。先週ご説明したように**前回の2波動を合計した日柄と今回の1波動の日柄が対等**になるということがよくあるわけです。

昨年12月安値41円から今年3月高値92円があって4月安値が70円。この**上げて下げたの2波動を合計した日柄は16週**。

この16週を現在の相場にあてはめます。今年4月安値70円から16週目は7月第3週.....。

**7月第3週にN計算値の121円まで上げる可能性がある。**

このように最初は1波動の日柄をとり、続いて2波動を合計した日柄をとる。これが考え方の基本ですのでよく覚えておいて下さい。 (無料レフォサビス) **やさしいチャート教室 03-3669-5552**



Alpha Chart 社

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。